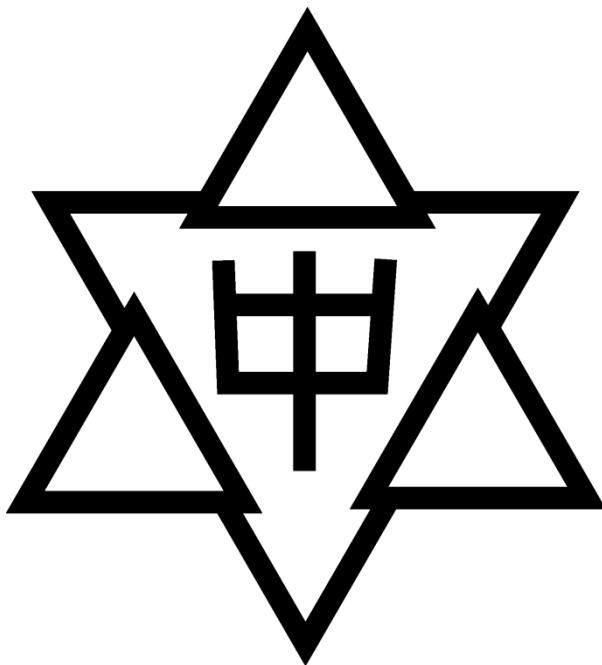


令和5年度

学習の手引き

＜シラバス＞



佐呂間町立佐呂間中学校

年 番	名前
-----	----

<目 次>

◎学習の手引き	2
1 自学・自習の構造	
2 家庭学習の基本	
◎「自ら学ぶ学習の手引き」	3
1 わたしたち佐呂間中学校の目標	
2 授業の心構え	
3 授業の約束	
4 授業前の基本的なこと	
5 授業での学習の仕方	
6 本年度の定期テストの実施教科	
◎評価・評定について	4
◎☑国語	6
◎☑社会	10
◎☑数学	14
◎☑理科	18
◎☑英語	22
◎☑音楽	26
◎☑美術	30
◎☑保健体育	34
◎☑技術	38
◎☑家庭	42

学習の手引き

1 自学・自習（自分の力で勉強する）の構造

勉強の「答え」は決して1つではありません。「（答えが）正しいか、間違っているか」ではなく、「自分の力で解決できたか」が勉強の中で一番大切なことです。つまり、「なぜ？」「どうして？」と疑問をもって課題にぶつかり、すすんで解決しようとする態度、「なるほど！」「わかった！」と、納得がいくまでやりぬく態度、それらの態度が自分に大きな自信をつけ、その努力が自分を見違えるほど変身させ、立派に成長させてくれるのであります。

「習うよりも慣れろ」という言葉にもあるように、どんなに難しいと思われることでも何度もくり返してやってみることで次第に分かるようになるものです。また、前もって下調べ（予習）をして授業にのぞむと、先生や友達の話が何倍も分かることにつながります。

家庭学習が大切なのは、「くり返しやってみる（復習）」ことや「下調べをする（予習）」ことによって、より確かな学力が身につくからなのです。

{調べる（予習）} {習う（授業）} {くり返す（復習）} の学習サイクルにしたがって学習すれば、さらに実力アップ間違いなしです。

2 家庭学習の基本（詳しいことは各教科の手引きを参考にしてください）

予 習	<ul style="list-style-type: none">① 翌日の授業で勉強する教科書のページを読んでおく。② 読めない漢字や単語、意味不明な言葉は調べておく。③ 解決できない箇所は線などを引いておき、先生に質問する。④ 雑誌・新聞・TVなどで役立ちそうな資料を集めておく。
復 習	<ul style="list-style-type: none">① 教科書やノートを使って習ったところに目を通す。② 課題や宿題をやる。③ 自学ノートやワーク、問題集に取り組んでみる。④ 授業で不十分だったところは、参考書や辞書を使って調べたり、家族に聞いたりする。⑤ 自分で確認したことや疑問が残ったことを翌日先生に聞く。⑥ 新聞・雑誌・TVなども活用してみる。

「自ら学ぶ学習の手引き」

1 わたしたち佐呂間中学校の目標

- ① 進んで学ぶ生徒～創造性豊かで真理の探究に励む生徒～
- ② 思いやりのある生徒～情操に富み、正義と敬愛を重んずる生徒～
- ③ たくましい生徒～体力の向上を目指し、明るく健康な生徒～

2 授業の心構え

- ① やる気を持って授業に臨みましょう。
- ② 授業は受け身にならず、主体的に参加しましょう。
- ③ 頭だけでなく、「手で書く」「耳で聴く」「口で言う」など五感のすべてを使いましょう。
- ④ 分からないことは遠慮をせずに質問しましょう。
- ⑤ 授業がよくわかるように、予習を心がけましょう。
- ⑥ 授業の基本は、まず先生や友達の話をよく聴くことです。集中しましょう。

3 授業の約束

- ① 学習用具をよく調べ、忘れ物をしない。
- ② 授業前（休み時間）に学習用具を準備する。タブレットは、先生の許可を受け起動する。
- ③ 忘れ物をしたときは授業前に教科の先生に申し出る。
- ④ チャイムが鳴る前に着席し、チャイムと同時に号令をかける。
- ⑤ 始業・終業は心をこめて礼をする。
- ⑥ 授業中は私語をしない。
- ⑦ ノートは工夫し、きちんととる。（要点は色ペンを使ったり、線を引いたりする。）
- ⑧ 常に姿勢を正し、許可なく席を立たない。
- ⑨ 実験用具や教材・学習用具は大切にする。また、自分のものには名前を書く。

4 授業前の基本的なこと

- ① 夜更かし、朝寝坊、朝食抜きなどをせずに体調を整える。
- ② 着替えや教室移動は休み時間中に済ませ、チャイムが鳴る前に着席する。
- ③ 学習用具の準備をしっかりとる。
- ④ 予習をし、疑問点や学習のポイントを逃さない。
- ⑤ 具合が悪いときや怪我をしたときは保健室で見てもらい、授業の先生に報告する。

5 授業での学習の仕方

- ① 聴く…私語をつしみ、要点を整理して集中して話を聞く。
- ② 読む…はっきりした声で読む。
- ③ 話す…はきはきと相手に分かるように話す。
- ④ 書く…板書事項を書き写すことに慣れ、自分で分かりやすいように工夫して書く。
- ⑤ 整理…後片付けをしっかりとし、次の授業に支障がないようにする。

6 本年度の定期テストの実施教科

前期中間	全学年 5教科（国語・社会・数学・理科・英語）
前期期末	1・2年生 5教科（国語・社会・数学・理科・英語）※芸能科目は授業内実施
	3年生 5教科（国語・社会・数学・理科・英語）※芸能科目は授業内実施
後期中間	全学年 5教科（国語・社会・数学・理科・英語）
学年末	1・2年生 5教科（国語・社会・数学・理科・英語）※芸能科目は授業内実施
	3年生 5教科（国語・社会・数学・理科・英語）※芸能科目は授業内実施

※ 保健体育科は「定期テスト」とは時期をずらした「単元テスト」を評価材料とします。

評価・評定について

中学校の通知票に記載する「評価・評定」は、学期末・学年末時点での学習状況をお知らせするためのものです。次の学期や次の学年ではどんな学習に力を入れればよいのか、目標を立てるために活用してください。

(1) 評価とは

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の各観点の学習状況の達成率を、5段階(A・B・C・D・E)で表したものです。

学習の達成率(%)	カッティングポイント (評価の区切り目)	評価
100% ~ 85%以上	85%	A 特に程度の高いもの
85%未満 ~ 70%以上	70%	B 十分満足できる
70%未満 ~ 45%以上	45%	C おおむね満足できる
45%未満 ~ 20%以上	20%	D 努力を要する
20%未満 ~ 0%以上	—	E 一層努力を要する

(2) 評定とは

各教科の学習状況を総括的に判断して、5段階（5・4・3・2・1）で算出したものです。

3観点の達成率を合計して300点満点に換算（1%＝1点）して算出します。

3観点の合計	カッティングポイント (評価の区切り目)	評定	
300点 ~ 255点以上	85% (255点)	5	特に程度の高いもの
255点未満 ~ 210点以上	70% (210点)	4	十分満足できる
210点未満 ~ 135点以上	45% (135点)	3	おおむね満足できる
135点未満 ~ 60点以上	20% (60点)	2	努力を要する
60点未満 ~ 0点以上	—	1	一層努力を要する

カッティングポイント前後5%以内の評定には、+・-がつきます。学習の励みにしてください。

例) 3観点合計が254点 → 評定4+（もう少しで5）

例) 3観点合計が257点 → 評定5-（もう少しで4）

各学年の学年末評定が、高校入試の調査書に記載されます。

(3) よくある質問

Q：定期テストの点数が良かったのに評定があまりよくないと思うのですが…？

A：各教科の評定は定期テストだけではなく、多くの材料から評価・評定を算出します（各提出物、授業態度、小テストなど）。いろいろな学習に一生懸命、取り組むことが大切です。

Q：評価が「A・A・B」でも、評定に「4」と「5」があるのはなぜですか？

A：同じA（またはB・C）でも、達成率の幅があるからです。以下のような場合が想定されます。

観点1の評価	観点2の評価	観点3の評価	3観点合計	評定
A (90%)	A (90%)	B (80%)	260点	5
A (85%)	A (85%)	B (70%)	240点	4

同じAやBでも、達成率の度合いによって3観点の合計や評定が異なります。

国 語

予習	<p>① ふだんから「ことば」に関心を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話すこと…敬語を意識した丁寧な言葉遣いをする。 ・聞くこと…最後まで話を聞く。わからないことを質問する。 ・書くこと…日記・ブログ・感想・作文（書いた分だけ作文能力が成長します）
授業	<p>① 質問等に対しては、まずは自分で考える。</p> <p>② 指名された場合、分からないからといって無言でいない。 （「わかりません」は最終手段。）</p> <p>③ 先生が板書した内容は特別な場合がない限りノートに書き写し、その他必要な内容を付け加えてノート作りを工夫する（自分が読める字ではなく、点検する人が読める字で書く）。</p>
復習	<p>① 漢字スキルのやれなかつた分を家庭学習としてやる (漢字テストは2日に1回行います)</p> <p>② ワークの宿題は、マルつけまで完了させる</p>
その他	<p>① 「ことばの知識」は意識して増やしましょう。</p> <p>② 本を読む。（新聞でもなんでも良い。とにかく文章を読むこと。）好きな作家や作品、あるいは人生に大きな影響を与えるような作品に出会えるかもしれない。</p> <p>③ 学力テスト対策は、国語便覧をしっかり読み返すこと。定期テスト対策は、ノートとワークをしっかり読み返すこと。</p>

学習内容および評価規準（1年国語）

学習計画			評価にあたって	
学期	月	単元計画	評価の観点	
				評価の方法
		1 学びを開く 2 新しい視点で 情報社会を生きる 【書写】漢字の筆使い 3 言葉に立ち止まる 読書生活を豊かに 【書写】楷書に調和する仮名 4 心の動き 5 筋道を立てて 【書写】点画の組み立て方 6 いにしえの心にふれる 【書写】部分の組み立て方 7 價値をみいだす 読書に親しむ 【書写】行書の特徴 8 自分を見つめる	<p>定期テスト 単元テスト 漢字テスト 授業中の取り組み ノート記述 発表・発言の内容</p> <p>定期テスト 単元テスト 授業中の取り組み ノート記述 発表・発言の内容</p> <p>授業中の取り組み ノート記述 発表・発言の内容</p>	
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に臨む態度	<ul style="list-style-type: none"> 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し伝え合う内容を検討している。 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫している。 「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 <ul style="list-style-type: none"> 積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって報告しようとしている。 粘り強く表現を工夫し、今までの学習を生かして対話しようとしている。 粘り強く自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。 粘り強く文章の要旨を把握し、学習の見通しをもって理解したことを報告しようとしている。

学習内容および評価規準（2年国語）

学習計画			評価にあたって	
学期	月	単元計画	評価の観点	
				評価の方法
		1 広がる学びへ	知識・技能	定期テスト 単元テスト 漢字テスト 授業中の取り組み ノート記述 発表・発言の内容
		2 多様な視点から 情報社会を生きる 【書写】点画の省略		
		3 言葉と向き合う 読書生活を豊かに 【書写】筆順の変化		
		4 人間のきずな 【書写】行書に調和する仮名	思考・判断・表現	定期テスト 単元テスト 授業中の取り組み ノート記述 発表・発言の内容
		5 論理を捉えて		
		6 いにしえの心をたずねる 【書写】行書と仮名の調和		
		7 価値を語る 読書に親しむ 【書写】楷書と行書の使い分け	主体的に学習に臨む態度	授業中の取り組み ノート記述 発表・発言の内容
		8 表現を見つめる		

学習内容および評価規準（3年国語）

学習計画			評価にあたって	
学期	月	単元計画	評価の観点	
				評価の方法
		1 深まる学びへ 2 視野を広げて 情報社会を生きる 【書写】全国文字マップ 3 言葉とともに 読書生活を豊かに 【書写】文字の使い分け 4 状況の中で 5 自らの考えを 6 いにしえの心を受け継ぐ 7 儲値を生み出す 読書に親しむ 【書写】三年間のまとめ 8 未来に向かって	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客觀性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。 <p>主体的に学習に臨む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題に沿って提案しようとしている。 粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って批評する文章を書こうとしている。 粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題に沿って考えたことについて討論しようとしている。 	定期テスト 単元テスト 漢字テスト 授業中の取り組み ノート記述 発表・発言の内容
				定期テスト 単元テスト 授業中の取り組み ノート記述 発表・発言の内容

社 会

予 習	<p>① 次の時間に勉強するところを事前に読み、写真や資料を見る。読めない漢字を調べる。</p> <p>② 読んで理解できなかつたところに、自分なりの印をつけておき、授業中に質問する準備をしておく。</p>
授 業	<p>① 授業の<u>持ち物</u>を忘れないようにする。 教科書・ファイル・ワーク（答・付属ノートもはさむ）・地図帳（地理の時） ※あつたら良いもの…蛍光ペン（教科書に印をつけます）</p> <p>② 忘れ物をした場合は、授業開始前までに教科の先生に申し出る （謝る→忘れた理由→どうするのか、を伝える）。</p> <p>③ 授業に関係のない話はせず、授業に関する発言をしていこう。</p> <p>④ 予習や授業の中で分からなかつたところを、積極的に質問しよう。</p> <p>⑤ 間違えてもいいので、自分の考えを書いたり、発言しよう。</p> <p>⑥ クラスメイトの質問や意見などをしっかり聞く。<u>からかたりしない。</u></p> <p>⑦ 提出した宿題にふせんがついている部分は、修正して再提出しよう</p>
復 習	<p>① 授業でやつた所の教科書を読み直す。図やグラフも見る。</p> <p>② 宿題のワークを付属ノートにとく。必ず色ペンで答え合わせをする。 間違えたり、わからなかつた所は、色ペンで正解を書き込む。 色ペンで、間違えた問題に☆印、わからなかつた問題に⑦印をつけておく （印のついている問題が、自分の弱点です）</p> <p>③ 週末や月末に、印のついている問題をいらない紙において、答え合わせをする （弱点の補強が大切です）</p>
発 展	<p>教科書の単元が終わつたら、自分でまとめノートをつくると、力がつきやすいよ！</p> <p>① 地理 自分で略地図（大きめに）をかいて、そこに地名・都市名・農業・工業・気候などの特徴を書き込もう。</p> <p>② 歴史 歴史上の人物画を書いて、その人物に関係することを書こう。 時代ごとに出来事などをまとめ、イラストなども入れると良いです。</p> <p>③ 公民 表やグラフを書き込んでまとめる、よいです。</p>

学習内容および評価規準（1年社会）

学習計画				評価にあたって		
学期	月	単元計画		評価の観点		評価の方法
前期	4	第1編 世界と日本の地域構成	中間 期末	知識及び技能	○日本や世界の様々な地理的特色を理解しているか ○日本の歴史の大きな流れを理解しているか ○各時代の特色を理解しているか ○諸資料から情報を適切に読み取ったり、活用できているか	ワークシート 小テスト 定期テスト など
	5	第1章 世界の地域構成 第2章 日本の地域構成				
	6	第2編 世界のさまざまな地域 第1章 世界の人々の生活と環境 第1部 歴史のとらえ方・調べ方 1 年代の表し方と時代区分 2 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた				
	7	第2部 第1章 古代国家の成立と東アジア 1 人類の登場から文明の発生 2 東アジアの中の倭 3 中国にならった国家づくり チャレンジテスト 4 展開する天皇・貴族の政治 学習のまとめと表現 チャレンジテスト			○地理的特色や地理的な課題の解決に向けて、様々な角度から適切に考えているか ○歴史上の出来事の意味や時代の特色などを、様々な角度から適切に考えているか ○考えたことを説明したり、それをもとに適切に話し合いをしているか	ワークシート 小テスト 定期テスト 話し合いの様子など
	8	第2章 世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州		思考力、判断力、表現力等		
	9					
後期	10	4 北アメリカ州	中間 期末	主体的に学習に取り組む態度	○よりよい社会をつくるために、課題を主体的に追究し、解決しようとしているか	ワーク提出 ワークシート 授業への取り組みの様子など ※居眠りや私語・取り組まない等は、減点になります
	11	第2章 武家政権の成長と東アジア 1 武家政治の始まり 2 武家政権の内と外 3 人々の結び付きが強まる社会 学習のまとめと表現 チャレンジテスト				
	12	第3章 武家政権の展開と世界 1 大航海によって結び付く世界 2 戦乱から全国統一 世界の諸地域 5 南アメリカ州 6 オセニア州 チャレンジテスト				
	1	第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の方法を学ぼう 第2章 日本の特色と地域区分				
	2					
	3					

学習内容および評価規準（2年社会）

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
前期	4	第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の方法を学ぼう	中間	知識及び技能	○日本や世界の様々な地理的特色を理解しているか ○日本の歴史の大きな流れを理解しているか ○各時代の特色を理解しているか ○諸資料から情報を適切に読み取ったり、活用できているか	ワークシート 小テスト 定期テスト など
	5	第2章 日本の特色と地域区分（第4章 地域のあり方を含む）				
	6	3 武士による全国支配の完成				
	7	4 天下泰平の世の中 5 社会の変化と幕府の対策				
	8	学習のまとめと表現				
	9	第3章 日本の諸地域 7 北海道地方 1 九州地方 チャレンジテスト 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方	期末	思考力、判断力、表現力等	○地理的特色や地理的な課題の解決に向けて、様々な角度から適切に考えているか ○歴史上の出来事の意味や時代の特色などを、様々な角度から適切に考えているか	ワークシート 小テスト 定期テスト 話し合いの様子 など
	10	1 欧米諸国における「近代化」				
	11	2 開国と幕府の終わり				
	12	3 新しい価値観のもとで			○考えたことを説明したり、それをもとに適切に話し合いをしているか	
	1	4 近代国家への歩み 5 帝国主義と日本 6 アジアの強国との影				
後期	2	チャレンジテスト	中間	主体的に学習に取り組む態度		
	3	学習のまとめと表現 5 関東地方 6 東北地方 チャレンジテスト 1 第一次世界大戦 2 高まるデモクラシー 3 軍国主義と日本の行方			○よりよい社会をつくるために、課題を主体的に追究し、解決しようとしているか	ワーク提出 ワークシート 授業への取り組みの様子など
	4					
	5					
	6					※居眠りや私語・取り組まない等は、減点になります

学習内容および評価規準（3年社会）

学習計画				評価にあたって				
学期	月	単元計画		評価の観点				
前期	4	第5章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と民族独立 2 高まるデモクラシーの意識 3 軍国主義と日本の行方 4 太平洋に広がる戦線 学習のまとめと表現 第6章 現在に続く日本と世界 1 敗戦から立ち直る日本 2 世界の多極化と日本の成長 3 これからの日本と世界 チャレンジテスト 学習のまとめと表現 歴史学習の終わりに 第1章 蓼らしと現代社会 現代の社会ってどんな社会 1 私たちが生きる現代社会 2 現代につながる伝統と文化 3 私たちがつくる社会 第2章 人間を尊重する憲法 日本国憲法の最も大切な考え方 1 日本国憲法の成り立ち 2 憲法が保障する基本的人権 チャレンジテスト 3 私たちと平和主義 第3章 蓼らしと民主政治 1 民主政治と日本の政治 2 三権分立と国民の政治参加	中間	知識及び技能	○日本の歴史の大きな流れを理解しているか ○各時代の特色を理解しているか ○人権尊重の意義、民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動の関わり、現代社会の特徴、国際社会について、個人と社会の関わりを中心に理解しているか ○諸資料から情報を適切に読み取ったり、活用できているか	ワークシート 小テスト 定期テスト など		
	5							
	6							
	7							
	8		期末	思考力、判断力、表現力等	○地理的特色や地理的な課題の解決に向けて、様々な角度から適切に考えているか ○現代社会の課題や社会的事象の特色などについて、様々な角度から適切に考えているか	ワークシート 小テスト 定期テスト 話し合いの様子 など		
	9				○考えたことを説明したり、それをもとに適切に話し合いをしているか			
後期	10	3 地方自治と住民の参加 第4章 私たちの蓼らしと経済 1 消費生活と経済活動 2 企業の生産のしくみと労働 3 市場のしくみとはたらき 4 金融のしくみと財政の役割 第5章 安心して暮らせる社会 1 蓼らしを支える社会保障 2 これからの日本経済の課題 チャレンジテスト 第6章 国際社会に生きる私たち 国際社会の平和を目指して 国際社会が抱える課題と私たち 終章 私たちが未来の社会を築く 1 持続可能な未来の社会へ チャレンジテスト 3年間のまとめ	中間	主体的に学習に取り組む態度	○よりよい社会をつくるために、課題を主体的に追究し、解決しようとしているか	ワーク提出 ワークシート 授業への取り組みの様子など		
	11							
	12							
	1		期末					
	2							
	3		※居眠りや私語・取り組まない等は、減点になります					

数 学

はじめに、数学の勉強の基本は「反復練習で解き方を理解すること」です。

数学は日々の努力の積み重ねが必要な教科です。ですから、授業の内容が進んでいくにつれてどんどん分からなくなってしまうことがあります。そのため、学校の授業と家庭での勉強について、次のことを参考にして取り組んでください。

予 習	<p>① 数学の場合、授業で勉強する教科書の次の時間に学習するところを読んだり、例題をノートにそのまま書き写してみましょう。そして、どんな内容を学習するのか、疑問点などを見つけておき、次の日の授業に臨むようにするだけいいです。</p>
授 業	<p>① 先生や友だちの話を集中して聞く。（これが一番大事！）</p> <p>② 問題の解き方や考え方分からぬときは、必ず先生に質問して解決する。</p> <p>③ ホワイトボードに書いてあることをただノートに書き写すのではなく、自分で間違えそうなところや注意して覚えなければならないと思うところをチェックやメモをする。先生がなにげなくつぶやいたことなども可能な限り書いておく。あとで見直しても要点がわかりやすいノートにする。</p>
復 習	<p>① 数学の勉強で一番大切なのは家庭学習です。これを毎日コツコツとやればどんなに難しい問題でも解決できるようになります。</p> <p>② その日に学校で習った公式や問題をもう一度解いて理解できているかどうか確認する。</p> <p>③ 自分で買った問題集を解いて力試しをしてみる。</p> <p>④ その問題の解き方を誰かに教えられるようになること=しっかり理解できているということです！</p>

※ 家庭学習などで復習をしっかりやり、その日に習ったことを忘れないようにしましょう！反復が大切です。

※ 授業中はノートを書き写すだけではいけません。いくらキレイに書いても理解できていなければ意味がありません。内容を理解しつつノートをわかりやすく整理することが大切です。

学習内容および評価規準（1年数学）

学習計画				評価にあたって			
学期	月	単元計画		評価の観点		評価の方法	
前期	4	1章 「整数の性質」 ・整数の性質	中間 期末	知識・技能	正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	小テスト 定期テストなど	
	5	2章 「正の数、負の数」 ・正の数、負の数					
	6	・加法と減法 ・乗法と除法 ・正の数、負の数の活用		思考・判断・表現			
	7	3章 「文字と式」 ・文字の使用 ・式の計算			数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	発表 小テスト	
	8	・式の活用 ・数量の関係を表す式					
	9	4章 「方程式」 ・方程式とその解き方		主体的に学習に取り組む態度			
後期	10	・方程式の活用	中間 期末				
	11	5章 「比例と反比例」 ・比例					
	12	・反比例 ・比例、反比例の活用					
	1	6章 「平面図形」 ・平面図形の基礎 ・作図					
	2	・図形の移動 ・円とおうぎ形の計量					
	3	7章 「空間図形」 ・空間図形の基礎 ・立体の見方と調べ方 ・立体の体積と表面積					
		8章 「データの分析」 ・度数の分布 ・データの活用					

学習内容および評価規準（2年数学）

学習計画				評価にあたって		
学期	月	単元計画		評価の観点		評価の方法
前期	4 5 6	1章 「式の計算」 ・式の計算 ・式の活用	中間	知識・技能	文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けていく。	小テスト 定期テストなど
	7 8 9	2章 「連立方程式」 ・連立方程式とその解き方 ・連立方程式の活用	期末		文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けていく。	発表
後期	10 11 12	3章 「1次関数」 ・1次関数 ・1次関数と方程式	中間	思考・判断・表現	・1次関数の活用	小テスト 定期テストなど
	1 2 3	4章 「平行と合同」 ・平行線と角 ・合同と証明	期末		5章 「三角形と四角形」 ・三角形 ・四角形 ・三角形と四角形の応用	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考え方を認め、よりよく問題解決しようとする態度を身に付けていく。
		6章 「確率」 ・確率		主体的に学習に取り組む態度	7章 「データの分析」 ・データの散らばり ・データの活用	発表 ノート・ワークへの取り組み 提出物 宿題 定期テストなど

学習内容および評価規準（3年数学）

学習計画				評価にあたって			
学期	月	単元計画		評価の観点		評価の方法	
前期	4	1章 「式の計算」 ・多項式の乗法と除法 ・因数分解 ・式の活用	中間	知識・技能	数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けていく。	小テスト 定期テストなど	
	5						
	6						
	7	2章 「平方根」 ・平方根 ・平方根の計算 ・平方根の活用					
	8	3章 「2次方程式」 ・2次方程式とその解き方 ・2次方程式の活用					
	9		期末	思考・判断・表現	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	発表 小テスト 定期テストなど	
後期	10	4章 「関数 $y = ax^2$ 」 ・関数 $y = ax^2$ ・関数 $y = ax^2$ の活用 ・いろいろな関数	中間	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考え方を認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。	発表 ノート・ワークへの取り組み 提出物宿題	
	11	5章 「相似な図形」 ・相似な図形 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の面積の比と体積の比 ・相似な図形の活用					
	12						
	1	6章 「円」 ・円周角の定理 ・円周角の定理の活用					
	2	7章 「三平方の定理」 ・三平方の定理 ・三平方の定理の活用					
		8章 「標本調査」 ・標本調査 ・標本調査の活用	期末				
		中学3年間の総復習					

理 科

予 習	<ul style="list-style-type: none"> ① 教科書を読んで、実験や観察で何をするか知っておく。 ② 実験や観察をするときの順序や方法を知っておく。 ③ 疑問やわからないことをまとめておく。
授 業	<ul style="list-style-type: none"> ① 教科書・ノート・を忘れないようにしよう。 ② 理科室をつかうときは、休み時間のうちに移動をすませよう。 ③ 説明や指示をしっかりと聞こう。（特に、実験や観察には危険がともなうので） ④ 答えを暗記するのではなく、常に「なぜ」とその理由を考えながら学習しよう。 ⑤ わからないことは、できるだけその場で質問し、解決するように努力しよう。
復 習	<ul style="list-style-type: none"> ① 教科書をよく読んで、大切なところをノートにまとめる。 ② 法則や原理を整理して、ノートに書き写し、しっかりと覚える。 ③ 実験の結果や法則・原理がなぜそのようになったのかを考える。（結果だけをそのまま覚えこんでもダメ） ④ 実験のやり方や順序は覚えたか、また分からぬところが理解できたか反省し、分からぬ部分は先生にあらためて質問する。 ⑤ ワークは一回だけでなく、時間をおいて繰り返してみる。
研 究	理科を好きになることが大切です。科学番組を積極的に見たり、資料や理科の本を読むのがよいでしょう。

学習内容および評価規準（1年）

学習計画				評価にあたって	
学期	月	単元計画		評価の観点	評価の方法
前期	4～9	1 いろいろな生物とその共通点 2 身のまわりの物質	中間期末	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとの学習内容を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけていく。 ○事物・現象の特徴に着目しながら、学習項目を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけていく。 	授業での発言 実験への参加 中間テスト 期末テスト 単元テスト 小テストなど
		3 大地の成り立ちと変化 4 光・音・力	中間学年末	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもって観察、実験などを行い、学習項目と関連づけてその結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。 	授業での発言 実験への参加 中間テスト 期末テスト 単元テスト 小テストなど
後期	10～3			<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習項目に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	授業での発言 授業への参加姿勢 ワークの点検

学習内容および評価規準（2年）

学習計画				評価にあたって	
学期	月	単元計画		評価の観点	評価の方法
前期	4～9	1 化学変化と原子・分子 2 生物の体のつくりとはたらき	中間期末	知識・技能	○単元ごとの学習内容を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。 ○事物・現象の特徴に着目しながら、学習項目を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。
				思考・判断・表現	○見通しをもって観察、実験などを行い、学習項目と関連づけてその結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。
後期	10～3	3 気象とその変化 4 電気の世界	中間学年末	主体的に学習に取り組む態度	○学習項目に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
					授業での発言 実験への参加 中間テスト 期末テスト 単元テスト 小テストなど

学習内容および評価規準（3年）

学習計画				評価にあたって	
学期	月	単元計画		評価の観点	評価の方法
前期	4～9	1 化学変化とイオン 2 生命の連續性 3 地球と宇宙	中間期末	知識・技能	○単元ごとの学習内容を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。 ○事物・現象の特徴に着目しながら、学習項目を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。
				思考・判断・表現	○見通しをもって観察、実験などを行い、学習項目と関連づけてその結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。
後期	10～3	4 運動とエネルギー 5 自然環境や科学技術と私たちの未来	中間学年末	主体的に学習に取り組む態度	○学習項目に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
					授業での発言 実験への参加 中間テスト 期末テスト 単元テスト 小テストなど

英語	
予習	<p>① ノートに本文をなぞったり書いたりしてみよう。（1年生）</p> <p>② 単語の意味や発音を調べよう。</p>
授業	<p>① 忘れ物はしないようにしよう。※忘れた場合は、事前に申し出ること</p> <p>② 授業中は集中して取り組もう。</p> <p>③ 間違えを恐れず、たくさん英語を使おう。</p> <p>④ 積極的に言語活動に取り組もう。</p> <p>⑤ 英語のルールを守って、正しく英語を書けるようにしよう。</p>
復習	<p>① 基本文や教科書、ワークの英文を音読しよう。（最低10回または10分）</p> <p>② 英単語を発音しながら書けるように練習しよう。 (<u>Practice</u>→<u>Test</u>→<u>Check</u>→<u>Practice</u> サイクル)</p> <p>③ 教科書 Scenes の英文や重要表現は正しく読んだり書いたりできるようになろう。</p> <p>④ 文法問題（プリントやワーク）に取り組もう。※取り組み後、必ず答え合わせをすること</p>
発展	<p>① 目標を決めて、自主学習に取り組もう。</p> <p>② A L T に積極的に話しかけよう。</p> <p>③ 英語検定の問題を解いてみよう。英語検定試験に挑戦しよう。 ※佐呂間町は検定料が全額助成されます。</p> <p>④ 英語暗唱大会に挑戦しよう。</p>

学習内容および評価規準(1年英語)

学習計画			
学期	月	単元計画	
前期	4	オリエンテーション Classroom English Get ready1~4・program0	中間
	5	Program 1 友達をつくろう Word Web① 数の言い方 Program2 1-B の生徒たち	
	6	Word Web②曜日と天気の言い方 Step1 英語でやりとりしよう① アクションコーナー ¹ Program3 タレントショーを開こう 英語のしきみ(program3) Step2 考えを整理し、表現しよう	
	7	Our Project①あなたの知らない私 Power-up1 ハンバーガーショップへ行こう	期末
	8	Program4 Let's enjoy Japanese Culture. 英語のしきみ(program4) Power-up②持ち主をたずねよう	
	9	Program5 The Junior Safety Patrol 英語のしきみ(Program5) Word Web③季節・月の名前 Program6 The way to school 英語のしきみ(Program6)	
	10	Power up③ 道案内をしよう Power up④ 店内放送を聞こう Word Web④順番・日付の言い方 Program 7 The Wonderful Ocean 英語のしきみ(Program7)	中間
	11	Step③ 話の組み立て方を考えよう Step④ 英語でやりとりしよう Word Web⑤疑問詞のまとめ Our project②この人を知っていますか	
	12	Power-up5 インタビューを聞こう Program8 The Year -End Events 英語のしきみ(program8) Step5 絵や写真を英語で表現しよう	
後期	1	Program9 A Trip to Finland 英語のしきみ(program9) Step⑥文の内容を整理し、表現しよう	期末
	2	Program10 Grandma Baba's Warming Ideas! 英語のしきみ(program10) Step⑦英語でやりとりしよう③ Our Project③私が選んだ1枚 Power-up⑥絵はがきを書こう	
	3	1年のまとめ	23

評価にあたって		
評価の観点		評価の方法
知識・技能	○英語の音声、符号、語、連語及び慣用表現、文、文構造及び文法事項、言語の働きの理解 ○これらの知識を実際のコミュニケーションで活用できる能力	言語活動 小テスト 単元テスト 定期テスト パフォーマンステスト(面接・スピーチ・エッセイ等)など
思考力・判断力・表現力	○英語による簡単な情報や考えなどの理解 ○理解したことを活用するなどして、英語で表現したり伝え合ったりする力	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト(面接・スピーチ・エッセイ等)など
主体的に学習に取り組む態度	○英語の背景にある文化に対する理解 ○聞き手、話し手、書き手への配慮 ○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト(面接・スピーチ・エッセイ等)など

学習内容および評価規準(2年英語)

学習計画			
学期	月	単元計画	
前期	4	オリエンテーション 辞書を読んでみよう Program1 Start of a New School Year 英語のしくみ(program1)	中間 期末
	5	Step1 情報をつなげ、メモをとろう Program 2 Leave Only Footprints 英語のしくみ(Program2) Power-up① 天気予報を聞こう Power-up② 電話をかけよう Word Web① スープの材料	
	6	Program 3 Taste of Culture 英語のしくみ(program3) Step2 文章の構成を考えよう Our Project4「夢の旅行」を企画しよう	
	7	Reading① Gon, the Little Fox Word Web② いろいろな形容詞	
	8	Program4 High-Tech Nature 英語のしくみ(Program4)	
	9	Word Web③ 楽器の名前 Program 5 Work Experience 英語のしくみ(program5) Power-up③ レストランで食事をしよう	
	10	Program6 Live Life in True Harmony 英語のしくみ(Program6) Steps3会話をつなげ、深めよう	中間 期末
	11	Our Project⑤こんな人になりたい Reading② Friendship beyond Time and Borders	
	12	Word Web④ いろいろな前置詞 Program7 A Gate way to Japan Steps4 相手にわかりやすい説明をしよう Power-up④空港アナウンスを聞こう	
後期	1	Program 8 A Hope for Lasting Peace 英語のしくみ Program7,8 Steps 5 説得力のある主張をしよう	
	2	Power-up5 メールで近況報告をしよう Our Project6この1年で得た「宝もの」 Word Web⑤町の風景	
	3	Reading③ Visa of Hope 1年のまとめ	

評価にあたって	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	○英語の音声、符号、語、連語及び慣用表現、文、文構造及び文法事項、言語の働きの理解。 ○これらの知識を実際のコミュニケーションで活用できる能力
思考力・判断力・表現力	○英語による簡単な情報や考えなどの理解。 ○理解したことを活用するなどして、英語で表現したり伝え合ったりする力。
主体的に学習に取り組む態度	○英語の背景にある文化に対する理解。 ○聞き手、話し手、書き手への配慮。 ○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。

学習内容および評価規準(3年英語)

学習計画			
学期	月	単元計画	
前期	4	オリエンテーション 辞書を使いこなそう Program1 Bentos Are Interesting! 英語のしきみ(Program1)	中間 期末
	5	Word Web①家の中と外 Steps1ディベートをしよう Program 2 Good night. Sleep Tight. 英語のしきみ(program2) Power-up1 道案内をしよう②	
	6	Program3 A Hot Sport Today 英語のしきみ(program3) Steps2 ×モノの取り方を学ぼう Our Project⑦ 記者会見を聞こう	
	7	Reading① Faithful Elephants Power-Up② 不良品を交換しよう Program 4	
	8	Sign languages, Not Just Gestures! 英語のしきみ(program4)	
	9	Power-up③ ホームページで学校を紹介しよう Steps3 簡単な表現で言い換えよう Program 5 The story of Chocolate	
	10	英語のしきみ(program5) Step4 わかりやすい文章を考えよう Word Web②動詞の使い分け Program 6 The great pacific Garbage Patch 英語のしきみ(program6)	
	11	Steps5 ディスカッションをしよう Our Project 8 あなたの町を世界に PR しよう Power-Up4	
	12	非常時のアナウンスを聞こう Program7 Is AI a Friend or an Enemy? 英語のしきみ(Program7)	
後期	1	Reading② Malala's Voice for the Future Special Project 中学校の思い出を残そう Word Web3 オリンピック競技・パラリンピック競技	期末
	2	入試対策 (Listening, Writing, Reading, Speaking)	
	3		

評価にあたって		
評価の観点		評価の方法
知識・技能	○英語の音声、符号、語、連語及び慣用表現、文、文構造及び文法事項、言語の働きの理解。 ○これらの知識を実際のコミュニケーションで活用できる能力	言語活動 小テスト 単元テスト 定期テスト パフォーマンステスト(面接・スピーチ・エッセイ等)など
思考力・判断力・表現力	○英語による簡単な情報や考えなどの理解。 ○理解したことを活用するなどして、英語で表現したり伝え合ったりする力。	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト(面接・スピーチ・エッセイ等)など
主体的に学習に取り組む態度	○英語の背景にある文化に対する理解。 ○聞き手、話し手、書き手への配慮。 ○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。	言語活動 定期テスト パフォーマンステスト(面接・スピーチ・エッセイ等)など

音 樂

準備	<p>① 授業で必要なもの（筆記用具・教科書・リコーダー・ファイル）がそろっているか確認しよう。忘れた場合は事前に申し出ること。リコーダーを忘れた場合は指だけでの練習になります。</p> <p>授業が始まるまでに音楽室で着席していること。</p>
授業	<p>① 目標に向かってやりきろう。</p> <p>② よく聞き・よく聴くこと。</p> <p>③ 挑戦しよう。</p>
復習	<p>① 実技テストに向けて練習しよう。</p> <p>② テスト前はプリントをよく確認しておこう。</p>

学習内容および評価規準（1年音楽）

学習計画			評価にあたって		
学期	月	単元計画	評価の観点		評価の方法
前期	4	○校歌・作曲 自然な発声で歌おう	<p>知識・技能</p> <p>○曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。</p> <p>○曲の形式や特徴を捉え、歴史的背景との関りについて理解している。</p> <p>○全体の響きを聞き取りながら他の声部と合わせて歌う技能を身につけていく。</p> <p>○器楽の音色や響きと奏法の関りを理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト ワークシート 実技テスト 	
	5	○アルトリコーダー タンギングや左手の運指を身につけよう			
	6	○夏の思い出 曲の形式を生かして歌おう			
	7	○魔王 歌曲の形式の違いを鑑賞しよう			
	8	○合唱コンクール曲 音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう			
	9	※単元のまとまりごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			
	10	○アルトリコーダー 右手の運指や低い音を表現する奏法を身につけよう			
	11	○明日を信じて 音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう			
	12	○「春」第1楽章 弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう			
後期	1	○六段の調 箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>○曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p> <p>○音楽の良さや美しさを味わって聴いている。</p> <p>○器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト ワークシート 実技テスト 	
	2	○卒業式合唱 音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう			
	3	※単元のまとまりごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			
			<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>○知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 実技テスト 取り組みの様子 振り返りシート 	

学習内容および評価規準（2年音楽）

学 習 計 画				評 価 に あ た つ て	
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点	評価の方法
前 期	4	○アルトリコーダー サミングや息のコントロールを身につけて表現を工夫しよう		知識・技能	<input type="checkbox"/> 曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 <input type="checkbox"/> 曲の形式や特徴を捉え、歴史的背景との関りについて理解している。 <input type="checkbox"/> 全体の響きを聞き取りながら他の声部と合わせて歌う技能を身につけている。 <input type="checkbox"/> 器楽の音色や響きと奏法の関りを理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身につけている。
	5	○早春賦 曲の形式を生かして歌おう			
	6	○交響曲第5番ハ短調作品67 オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう			
	7	○合唱コンクール曲 曲想を味わいながら合わせて歌おう		思考力・判断力・表現力	<input type="checkbox"/> 単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。
	8	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			
	9				
後 期	10	○アルトリコーダー リコーダーの基本的な奏法を身につけてアンサンブルを楽しもう		思考力・判断力・表現力	<input type="checkbox"/> 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 <input type="checkbox"/> 音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 <input type="checkbox"/> 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
	11	○そよぐ風の中で 曲想を味わいながら合わせて歌おう			
	12	○ボレロ 曲の構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう			
	1	○卒業式合唱 曲想を味わいながら合わせて歌おう		主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。
	2	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			
	3				

学習内容および評価規準（3年音楽）

学習計画				評価にあたって	
学期	月	単元計画		評価の観点	評価の方法
前期	4	○アルトリコーダー リコーダーの基本的な奏法を身につけてアンサンブルを楽しもう		知識・技能	<p>□曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。</p> <p>□曲の形式や特徴を捉え、歴史的背景との関りについて理解している。</p> <p>□全体の響きを聞き取りながら他の声部と合わせて歌う技能を身につけている。</p> <p>□器楽の音色や響きと奏法の関りを理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身につけていく。</p>
	5	○花 曲の形式を生かして歌おう			
	6	○オペラ「アイーダ」 オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう			
	7	○合唱コンクール曲 曲想を味わいながら合わせて歌おう		思考力・判断力・表現力	<p>□曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p> <p>□音楽の良さや美しさを味わって聴いている。</p> <p>□器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。</p>
	8	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			
	9				
後期	10	○アルトリコーダー ^{リコーダーの基本的な奏法を身につけてアンサンブルを楽しもう}		主体的に学習に取り組む態度	<p>□知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
	11	○時を越えて 曲想を味わいながら合わせて歌おう			
	12	○歌舞伎「勧進帳」 歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう			
	1	○卒業式合唱 曲想を味わいながら合わせて歌おう			
	2	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			
	3				

美術

予習	<ul style="list-style-type: none"> ① 次の時間に必要な教材、道具などは前日までに必ず準備し、不足している物については補充しておきましょう。
授業	<ul style="list-style-type: none"> ① 作業の説明、制作の注意点をしっかり聞くこと。 ② 制作には、集中して取り組むこと。 ③ 与えられた時間を考えて、計画的に作業を進めること。 ④ 道具は大切に使うこと。 ⑤ 刃物の扱いには十分注意すること。 ⑥ 人の制作のじやまをしないこと。 ⑦ 机や床についた絵の具や、作業で出たゴミは責任を持って片づけること。
復習	<ul style="list-style-type: none"> ① 覚えるべき学習内容については、家庭で時間をかけてしっかり覚えましょう。
研究	<ul style="list-style-type: none"> ① 制作の参考となる資料・情報は、身のまわりにあふれています。日頃から、テレビ、CM、雑誌、ポスターなどを注意深く見て、記憶にとどめておきましょう。 ② 展覧会などには進んで足を運び、鑑賞の芽を養いましょう。

学習内容および評価規準（1年美術）

学習計画			評価にあたって	
学期	月	単元計画	評価の観点	評価の方法
前期	4	○オリエンテーション ○「リンゴの兄弟」 ・粘土造形	<p>□形や色彩などの表現を身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して制作できたか。</p> <p>□材料や用具の特性を考慮し、順序や効率などを考えながら見通しをもって表現できたか。</p> <p>□評価のポイントを理解し、より良い表現を追求できたか。</p> <p>□鑑賞に関わる知識を積極的に学習することができたか。</p>	作品の完成度 配色の工夫 技法や用具の使い方の工夫 鑑賞の様子 ワークシート 定期テスト
	5			
	6	○「色彩の基本・仕組み」 ・色彩理論 ・ポスターカラーの使い方 ・技法について		
	7	○「見つめると見えてくる」 ・鉛筆の使い方 ・スケッチについて ・デッサン ・平面構成		
	8			
	9	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。		
	10	○「文字っておもしろい」 ・レタリング ・名前のアート文字		<p>□対象を見つめ感じ取った形・色彩の美しさや想像したことから自分の表現したい主題を考えることができたか。</p> <p>□主題をもとに構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができたか。</p> <p>□評価ポイントを理解し、個性を生かした表現ができたか。</p> <p>□美術作品に親しみ、感性や想像力を働かせて良さや美しさなどを感じ取ったり味わったりして、考えたことや思ったことを発表したり表現できただか。</p>
	11	○「じっくり見ると見えてくる」 ・鉛筆等の使い方 ・デッサンについて		
	12	○「季節を楽しむ心」 ・樹脂粘土 ・和菓子		
後期	1		<p>□自ら意欲的に表現活動や鑑賞活動に取り組もうとしていたか。</p> <p>□忘れ物をせず期限を守り作品やプリントを提出できただか。</p> <p>□美術に関する知識を意欲的に学習することができたか。</p> <p>□自分の目標や課題を明確にし、振り返りやまとめができたか。</p>	授業準備 授業の様子 課題 ワークシート 作品の提出 定期テスト
	2			
	3	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。		

学習内容および評価規準（2年美術）

学習計画				評価にあたって	
学期	月	単元計画		評価の観点	評価の方法
前期	4	○オリエンテーション ○「リンゴの兄弟」 ・粘土造形		知識・技能	<input type="checkbox"/> 形や色彩などの表現を身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して制作できたか。 <input type="checkbox"/> 材料や用具の特性を考慮し、順序や効率などを考えながら見通しをもって表現できたか。 <input type="checkbox"/> 評価のポイントを理解し、より良い表現を追求できたか。 <input type="checkbox"/> 鑑賞に関わる知識を積極的に学習することができたか。
	5				
	6	○「透視図法」 ・透視図法について ・ポスターカラーの使い方			
	7				
	8	○「浮世絵はすごい」 ・浮世絵について		思考力・判断力・表現力	<input type="checkbox"/> 対象を見つめ感じ取った形・色彩の美しさや想像したことから自分の表現したい主題を考えることができたか。 <input type="checkbox"/> 主題をもとに構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができたか。 <input type="checkbox"/> 評価ポイントを理解し、個性を生かした表現ができたか。 <input type="checkbox"/> 美術作品に親しみ、感性や想像力を働かせて良さや美しさなどを感じ取ったり味わったりして、考えたことや思ったことを発表したり表現できたか。
	9	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			
	10	○「和菓子」 ・樹脂粘土			
	11				
	12	○「水と筆を操る」 ・墨を用いた技法			
後期	1	○鑑賞会		主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 自ら意欲的に表現活動や鑑賞活動に取り組もうとしていたか。
	2	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			<input type="checkbox"/> 忘れ物をせず期限を守り作品やプリントを提出できたか。
	3				<input type="checkbox"/> 美術に関する知識を意欲的に学習することができたか。
					<input type="checkbox"/> 自分の目標や課題を明確にし、振り返りやまとめができたか。

学習内容および評価規準（3年美術）

学 習 計 画				評 価 に あ た つ て	
学期	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点	評価の方法
前 期	4	○オリエンテーション ○「リンゴの兄弟」 ・粘土造形		知識・技能	□形や色彩などの表現を身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して制作できたか。 □材料や用具の特性を考慮し、順序や効率などを考えながら見通しをもって表現できたか。 □評価のポイントを理解し、より良い表現を追求できたか。
	5	○「その1枚が人を動かす」 ・ポスター ・ポスターカラーの使い方			□鑑賞に関する知識を積極的に学習することができたか。
	6				
	7	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。		思考力・判断力・表現力	□対象を見つめ感じ取った形・色彩の美しさや想像したことから自分の表現したい主題を考えることができたか。 □主題をもとに構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができたか。 □評価ポイントを理解し、個性を生かした表現ができたか。
	8				□美術作品に親しみ、感性や想像力を働かせて良さや美しさなどを感じ取ったり味わったりして、考えたことや思ったことを発表したり表現できたか。
	9				
	10	○私のシンボルマーク ・消しゴムハンコ		主体的に学習に取り組む態度	□自ら意欲的に表現活動や鑑賞活動に取り組もうとしていたか。
	11	○「今を生きる私へ」 ・自画像			□忘れ物をせず期限を守り作品やプリントを提出できたか。
	12	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			□美術に関する知識を意欲的に学習することができたか。 □自分の目標や課題を明確にし、振り返りやまとめができたか。
後 期	1				
	2	○「自分へ贈る卒業記念品」 ・夢たまご ・粘土造形			
	3				

保 健 体 育

授業	① 体育の時間は、必ずジャージを着用する。
	② 見学するときは事前に申し出る。
	③ 準備・後片付けは協力して全員で行う。
	④ 器具や用具は大切に使い、ボールを蹴るようなことはしない。
	⑤ 話を聞くときは、必ず動きを止め、話す人に注目する。
復習	① 保健では、教科書を利用し、要点をしっかりと整理しておく。
	② 学習カードを利用し、その日のうちに整理しておく。

学習内容および評価規準（1年保健体育）

学習計画				評価にあたって	
学期	月	単元計画		評価の観点	
				評価の方法	
前期	4	体つくり運動 新体力テスト		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲がある。 健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度がとれる。 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度がとれる。
	5	体育理論 陸上競技 陸上競技			
	6	保健分野 球技 水泳			
	7	水泳 球技 陸上競技			
	8	球技 陸上競技 球技 陸上競技			
	9	マラソン大会 柔道 球技 ※単元のまとめごとに テストを実施します。期 末テストは行いません。		知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。
	10	柔道 保健分野			
	11	器械運動（マット） 保健分野			
	12	保健分野 スキー スキー			
	1	球技			
後期	2	保健分野 ダンス ※単元のまとめごとに テストを実施します。期 末テストは行いません。		思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 運動についての自己の課題を見出し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 健康についての自他の課題を見出し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。
	3	保健分野 ダンス ※単元のまとめごとに テストを実施します。期 末テストは行いません。			

学習内容および評価規準（2年保健体育）

学習計画				評価にあたって				
学期	月	単元計画		評価の観点				
前期	4	体づくり運動 新体力テスト		主体的に学習に取り組む態度	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲がある。 ・健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度がとれる。 ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度がとれる。			
	5	体育理論 陸上競技 陸上競技						
	6	保健分野 球技						
	7	水泳		知識及び技能				
	8	水泳 球技		・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。 ・個人生活における健康・安全について理解するとともに。基本的な技能を身につけることができる。				
	9	陸上競技 球技 陸上競技 マラソン大会 柔道 球技 ※単元のまとめごとにテストを実施します。 期末テストは行いません。						
	10	柔道 保健分野		思考力・判断力・表現力等				
	11	器械運動（マット） 保健分野		・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。				
	12	保健分野 スキー スキー 球技		・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。				
	1 2	保健分野 ダンス ※単元のまとめごとにテストを実施します。 期末テストは行いません。						
	3							
後期				参加状況 学習カード 単元テスト				

学習内容および評価規準（3年保健体育）

学習計画				評価にあたって		
学期	月	単元計画		評価の観点		評価の方法
前期	4	体つくり運動 新体力テスト		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲がある。 健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度がとれる。 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度がとれる。 	参加状況 学習カード 単元テスト
	5	体育理論 陸上競技 陸上競技 保健分野 球技 水泳 水泳 球技 陸上競技 球技 陸上競技 マラソン大会 柔道 球技 ※単元のまとめごとにテストを実施します。 期末テストは行いません。			<ul style="list-style-type: none"> 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようになるため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけることができる。 	参加状況 学習カード 技能テスト 単元テスト
	6	保健分野		知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。 	参加状況 単元テスト 学習カード 技能テスト
	7	球技				
	8	水泳				
	9	陸上競技		思考力・判断力・表現力等		
		マラソン大会				
		柔道				
		球技				
		※単元のまとめごとにテストを実施します。 期末テストは行いません。				
後期	10	柔道 保健分野		思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。 	参加状況 単元テスト 学習カード 技能テスト
	11	器械運動（マット） 保健分野				
	12	保健分野				
	1	スキー				
	2	スキー 球技				
	3	保健分野 ※単元のまとめごとにテストを実施します。 期末テストは行いません。				

技 術

予 習	<ul style="list-style-type: none"> ① 次に習うところを読んで内容をつかんでおこう。 ② 技術科特有の用語が出てくるので、その意味を調べておこう。 ③ 実物（家庭用機械・電気器具など）をよく観察しておこう。 ④ 実習に必要な工具・用具は前日までに準備しておこう。
授 業	<ul style="list-style-type: none"> ① 持ち物は、教科書・ワークノート・筆記用具 ② 先生の説明を良く聞こう。 ③ 実習のときの服装を整えよう。 ④ 工具や機械の取り扱いに気をつけよう。 ⑤ 作業の安全を確認しよう。 ⑥ 工具や教室の整理整頓を心がけよう。
復 習	<ul style="list-style-type: none"> ① 正しい用具の使い方を振り返ろう。 ② 製作の順序を振り返ろう。 ③ 実習を通して、成功・失敗はなにが原因だったのかを振り返ってみよう。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ① 草花の栽培や家庭菜園の手入れなどを家人ともに行おう。 ② 家の機械や器具の修理や手入れを手伝って学習したことを活かそう。 ③ 自分で工作中に挑戦してみよう。

学習内容および評価規準（1年技術）

学習計画			評価にあたって	
学期	月	単元計画	評価の観点	
			評価の方法	
前期	4	ガイダンス A 材料と加工の技術 1-1 生活や社会と材料と加工の技術 1-2 材料を利用するための技術 金属の材料と加工の技術 プラスチックの材料と加工の技術 構造を丈夫にする技術 製図（等角図、第三角法） 情報モラル教室	<p>知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活や社会で利用されている材料と加工技術の仕組みを理解しているか ○等角図や第三角法によって、適切な製図ができるか ○工具を適切に扱うことができるか。 ○図法を理解し製作図に従って、組み立て・接合・仕上げなどが適切に行われているか。 ○情報の表現などについて、原理や法則を理解できているか <p>思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料と加工の技術に込められた工夫を読み取ることができるか ○材料と加工の技術をいかして、問題を見出し、課題を設定して解決しようとしているか ○よりよい社会をつくっていくために、材料と加工の技術を評価したり、新たな発想に基づいて、改良・応用しようとしているか ○情報の技術に込められた工夫を読み取ることができるか <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に技術を理解し、技能を身に付けようとしているか ○制作過程を振り返り、よりよいものになるように、改善・修正しようとしているか ○より良い社会をつくっていくために、材料と加工技術を工夫して創造しようとしているか 	<p>作業学習 授業ノート 製作課題 製図 定期テスト ワークシート など</p> <p>作業学習 授業ノート 製作課題 定期テスト ワークシート など</p> <p>授業に取り組む様子 作業学習の様子 授業ノート ワークシート など</p>
	5			
	6			
	7			
	8	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。		
	9			
	10	2-1 問題解決・技能（実習） 本棚制作		
	11			
	12			
後期	1			
	2	3 加工の技術のふりかえり		
	3	D 情報の技術 1-1 生活や社会と情報の技術 1-2 情報とコンピュータ 1-3 情報の表現と伝達 ※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。		

学習内容および評価規準（2年技術）

学習計画				評価にあたって	
学期	月	単元計画		評価の観点	
				評価の観点	評価の方法
前期	4	B 生物育成の技術 1-1 生活や社会と生物育成		知識及び技能	○生活や社会で利用されている生物育成の技術の仕組みを理解しているか ○安全で適切な栽培ができるか ○エネルギー変換技術を理解しているか ○安全で適切な製作ができるか ○情報モラルや知的財産、情報処理について理解しているか
	5	1-2 さまざまな生物育成			
	6	2 生物育成の技術による問題解決 土おこし 生物育成の実習			
	7	3 これからの生物育成 情報モラル教室			
	8	C エネルギー変換の技術 1 - 1 生活や社会とエネルギー変換の技術			○生物育成やエネルギー変換技術に込められた工夫を読み取ることができるか
	9	1-2 エネルギー資源の利用 1-3 電気の利用 1-4 運動の利用 ※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。		思考力、判断力、表現力等	○生物育成やエネルギー変換技術をいかして、問題を見出し、課題を設定して解決しようとしているか ○よりよい社会をつくるために、生物育成やエネルギー変換の技術を評価したり、新たな発想に基づいて、改良・応用しようとしているか ○情報モラルや知的財産保護に込められた工夫を読み取ることができるか
	10	2 エネルギー変換の技術による問題解決 LEDランタン制作			
	11				
	12	3 これからのエネルギー変換の技術			
	1	D 情報の技術 1-4 情報セキュリティと情報モラル		主体的に学習に取り組む態度	○主体的に技術を理解し、技能を身に付けようとしているか ○制作過程を振り返り、よりよいものになるように、改善・修正しようとしているか ○より良い社会をつくるために、生物育成やエネルギー変換の技術を工夫して創造しようとしているか
	2	エクセル演習			
	3	※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			

学習内容および評価規準（3年技術）

学習計画				評価にあたって	
学期	月	単元計画		評価の観点	
				評価の方法	
前期	4	D 情報の技術 2-1 双方向性コンテンツによる問題解決		知識及び技能	○情報の技術を理解しているか ○安全で適切なプログラムの製作ができているか ○エネルギー変換技術を理解しているか ○安全で適切な製作ができるか ○デバック（不具合の改善）をすることができるか
	5				
	6	2-2 計測・制御による問題解決			
	7	情報モラル教室		思考力、判断力、表現力等	
	8	3これから的情報技術 ※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。			○情報の技術をいかして、問題を見出し、課題を設定して解決しようとしているか ○よりよい社会をつくっていくために、情報の技術を評価したり、新たな発想に基づいて、改良・応用しようとしているか
	9			主体的に学習に取り組む態度	
後期					○主体的に技術を理解し、技能を身に付けようとしているか ○制作過程を振り返り、よりよいものになるように、改善・修正しようとしているか ○より良い社会をつくっていくために、情報の技術を工夫して創造しようとしているか

家 庭

予 習	<ul style="list-style-type: none"> ① 家で調理や裁縫に取り組んだり、雑誌やテレビで情報を得たりして、授業に生かそう。 ② 実習があるときは、教科書などのほかに実習道具も忘れ無いよう準備する。 <p style="margin-top: 10px;">※忘れ物をした場合には事前に申し出ること。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業中集中して話を聞き、しっかり取り組む。 ② 実習時、準備・後片付けは協力して全員で行う。 ③ 実習時、話を聞き注意事項を守る。
授 業	
復 習	<ul style="list-style-type: none"> ① 日常生活の中でも、衣・食・住に関心を持ち、よりよい生活の工夫を身につけよう。 ② 習ったことを生かして家事の手伝いを積極的に行い、生活技術を身につけよう。

学習内容および評価規準（1年家庭）

学習計画			評価にあたって	
学期	月	単元計画	評価の観点	評価の方法
前期	4	A 家族・家庭生活 1、自分の成長と家族・家庭生活	<p>●生活に必要な基礎・基本的な技術を身につけているか。</p> <p>●生活と技術とのかかわりについて理解し、基礎・基本的な知識を見つけているか。</p>	ワーク ワークシート 発言 実習の様子 定期テスト
	5	B 食生活 1、食事の役割と食習慣		
	6	2、中学生に必要な栄養を満たす食事		
	7	3、さまざまな食品とその選択		
	8	4、日常食の調理 ※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。		ワークシート ワーク 実習の様子 定期テスト
	9			
	10			
	11	5、地域の食文化		
	12	生活の課題と実践		
後期	1		<p>●生活について見直し、課題を見つけ、解決を目指して自分なりに工夫し想像しているか。</p> <p>●授業に集中して、意欲的に取り組んでいるか。</p> <p>●生活や技術について関心を持ち進んで実践しようとしているか。</p>	授業準備 授業の様子 課題 ワークシート 発言 提出物
	2	6、献立づくり		
	3	7、持続可能な食生活をめざして ※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。		

学習内容および評価規準（2年家庭）

学習計画			評価にあたって	
学期	月	単元計画	評価の観点	評価の方法
前期	4	B衣生活 1、目的に応じた衣服の選択 5 2、日常着の手入れと保管 6 7 3、生活を豊かにするものの製作 ※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。	知識・技能	●生活に必要な基礎・基本的な技術を身につけているか。 ●生活と技術とのかかわりについて理解し、基礎・基本的な知識を見つけているか。
	8			ワーク ワークシート 発言 実習の様子 定期テスト
	9		思考力・判断力・表現力	●生活について見直し、課題を見つけ、解決を目指して自分なりに工夫し想像しているか。
	10	B住生活 1、住まいのはたらきとこちよさ 2、安全な住まいで安心な暮らし 3、持続可能な住生活をめざして		ワークシート ワーク 実習の様子 定期テスト
	11	C消費生活・環境 1、家庭生活と消費 2、購入、支払いと生活情報 12 3、消費者被害と消費者の自立 4、持続可能な社会 ※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。	主体的に学習に取り組む態度	授業準備 授業の様子 課題 ワークシート 発言 提出物
	1			
	2			
	3			

学習内容および評価規準（3年家庭）

学習計画			評価にあたって	
学期	月	単元計画	評価の観点	評価の方法
前期	4 5 6 7 8 9		<p>●生活に必要な基礎・基本的な技術を身につけているか。</p> <p>●生活と技術とのかかわりについて理解し、基礎・基本的な知識を見つけているか。</p>	ワーク ワークシート 発言 定期テスト
後期	10 11 12 1 2 3	A 家族・家庭生活 2、幼児の生活と家族 3、幼児とのかかわり 4、家庭生活と地域との関わり 5、持続可能な家庭生活 ※単元のまとめごとにテストを実施します。期末テストは行いません。	<p>●生活について見直し、課題を見つけ、解決を目指して自分なりに工夫し想像しているか。</p> <p>●授業に集中して、意欲的に取り組んでいるか。</p> <p>●生活や技術について関心を持ち進んで実践しようとしているか。</p>	ワークシート ワーク 定期テスト 授業準備 授業の様子 課題 ワークシート 発言 提出物